



県学校体育功労賞を受賞して

山鹿市立鹿本中学校 校長 林田 浩昭

この度の授賞式では、県教育委員会をはじめ多数のご出席のうえ表彰式を挙げていただき、学校体育功労賞という輝かしい賞を頂戴し誠に身にあまる光栄でございます。併せまして、コロナ禍の中で、表彰式までの準備や当日の運営に大変ご苦労いただきました関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。正直なところ、このような栄誉は自分に縁のないものと思っておりましたので、授賞の通知を受けて唯々驚いていたところです。

振り返れば、高校生時の二人の恩師との出会いがあり、中学校の体育教師、そして陸上競技の指導者を志しました。六年間の小学校勤務を経て、念願の中学校保健体育教師として、上益城郡の中学校に赴任できました。初日の就任式終了後、三年生十数名から特別のあいさつ。生徒一人一人が、「わかる」・「できる」・「集う」授業、汗だくになり、「今日も楽しかった」の聲が聞ける授業実践に取り組みましたが、すべての生徒の学習意欲を掻き立てることができませんでした。また、何事もない平穏無事な日がほとんどなく、その対応に追われる日々。それは、私自身の学級経営や教科経営、部活動等での指導力のなさを痛感させられる毎日でもありました。丁度、熊本県中学校総合体育大会上益城大会が開催される前年でした。上益城中体連の会長先生・理事長先生の統率力や組織力、先生方の指導力、行動力などの多くを学び、自校での指導へと活かしていきました。また、熊本から始まった全国中学校駅伝競走大会には、関係の先生方から声をかけていただき、コースづくりや審判員として関わらせていただきました。この上益城の中体連、中体研で学んだことが保健体育教師の原点であり、志に向かってスタートした第一歩であるといっても間違いありません。

その後、鹿本管内の中学校に赴任。飛び込みの三年生担任。前任校に劣らず、様々な課題が満載でした。四年目、担任を外れ学年主任、教務主任。やっとな腰を据えて取り組むことができるようになり学習指導や部活動指導が徐々に成果となって表れてきました。

三校目の中学校、鹿本郡市中体連理事長と教務主任を兼務しての二年間は、様々な経験を積ませていただきました。活力ある生徒・自立する生徒の育成を目指し、結果を求めて「来年こそは」と決意した矢先に突然の異動となりました。

行政二年、小学校・中学校教頭七年、そして米野岳中学校長を経て、令和元年四月、教職生活最後の勤務地に鹿本中学校の校長として戻ることができ、併せて山鹿市中学校体育連盟会長を任されました。コロナ禍の中、健康・安全を守るため中体連総合体育大会の全が中止、生徒たちにとって集大成の夏は代替大会となりました。そして唯一残った駅伝競走は、関係各位のご支援とご協力により開催の運びとなり安堵の胸。教職生活最後の年に、男子チームは県大会で準優勝、初出場の九州大会では堂々の四位という成績。力を出し切った選手一人一人、そしてチームの姿に感慨無量で涙が止まりませんでした。

三十四年間の教職生活は、恩師の姿を胸に志を追いかけ、厳しい現実との葛藤にもがきながらも、たくさんの子供たちの頑張る姿に感動をもらい無我夢中で走ってきました。表彰式が終わって思うことは、この栄誉はけっして自分だけの成果ではなく、これまでご指導いただきました多くの先生方のお蔭であると深謝するばかりです。

最後になりましたが、熊本県中学校体育連盟・体育研究会の益々の発展と関係の先生方のご健康とご活躍を祈念いたしましてお礼の言葉といたします。ありがとうございました。